

土曜講座実施要項

鹿児島県総合教育センター

1 目的

教職員等の自主的・自発的な研修を促し、週休日における研修を希望する教職員等のニーズに応えるとともに、学力向上など学校教育に関する今日的課題に対応した講座を開設し、教職員等の資質の向上に資することを目的として、土曜日における研修講座を実施します。

2 開設内容等

「土曜講座開設一覧」のとおり

※ 対象ステージは、かごしま県教員等育成指標（ステージ別資質向上指標）に基づいていますが、どの講座もステージによらず受講可能です。

3 申込方法（※教職員と一般等の方で方法が異なります。）

- Plant（全国教員研修プラットフォーム）【公立学校教職員】

※ Plant の申込は、Plant のフリーワード検索の中に「土曜講座 262」と入れて検索をすると申込講座が出てきます。希望する講座を選択して申込みを行い、申込み完了となります。

※ Plant 上での所属長の承認は不要ですが、研修履歴には記録されます。

- Web 上の入力フォーム（Google フォーム）【一般等（学生、一般、行政、県外等）】

開設日の1週間前までに、二次元コード又はWeb サイトにアクセスの上、申込みフォームに入力して申し込んでください。

(1) 土曜講座((2)を除く.) https://x.gd/77gnt  第Ⅱ期土曜講座	(2) かごしま教師塾in総合教育センター https://x.gd/Du5bV  第Ⅱ期教師塾
--	--

※ オンラインでの申込みができない方は、企画課（099-294-2312）に相談してください。

4 その他

- (1) 申込みと同時に受講決定となります。受講できない場合のみ該当者に別途連絡します。
- (2) やむを得ない事情による申込みの取消し、当日の欠席・遅刻については、Google フォームの「欠席連絡等の入力」にて入力送信してください。（電話での連絡は受け付けておりません。）
- (3) 研修に要する経費（旅費、材料費等）は、申込者負担となります。
- (4) 体調が思わしくない場合は、事前に連絡の上、出席を控えるようお願いします。

土曜講座開設一覧

鹿児島県総合教育センター

9月5日 実施分							
番号	講 座 名（担当者名）			講 座 内 容		対象ステージ	
	校 種	定 員	時 間	場 所	準 備 す る も の 等	目指す資質	
11	地球領域の観察、実験 （小学校高学年～中学校） （教科教育研修課・塩向）			小・中学校理科の地球領域の内容の系統性などについて講義し、モデル実験を中心に実習を行います。		Ⅰ（１～５年経験）	
						Ⅱ（６～１０年経験）	
						イー①	
	小・中・義	８ 人	9:30 ～ 12:00	地学研修室	観察、実験に適した服装		
12	やってみよう 自立活動 （特別支援教育研修課・山下晃）			自立活動について、課題や悩みを共有しながら、実態把握から指導内容設定までを具体的な事例を通して考えていきます。 （10月3日と同じ）		Ⅰ（１～５年経験）	
						エー①	
						エー②	
	小・中・義 高・特	20 人	9:30 ～ 12:00	大 研 修 室	筆記用具		
			～				
			～				
			～				

土曜講座開設一覧

鹿児島県総合教育センター

9月26日 実施分						
番号	講座名(担当者名)			講座内容		対象ステージ
	校種	定員	時間	場所	準備するもの等	目指す資質
13	見て やって 伝わる わかる 手話講座 学生受講可 (特別支援教育研修課・山下い)			手話を学んでみたい、という方を対象にした、初級の手話講座。2時間の講座を通して簡単な手話での自己紹介ができるようになることを目指します。また、手話や身振りが必要と思われる児童生徒についても学びます。		全ステージ
						エー① エー②
	小・中・義・高・特・行	20人	9:30～12:00	大研修室	筆記用具、手鏡	
			～			
			～			
			～			

土曜講座開設一覧

鹿児島県総合教育センター

10月3日 実施分						
番号	講座名(担当者名)			講座内容		対象ステージ
	校種	定員	時間	場所	準備するもの等	目指す資質
14	やってみよう 自立活動 (特別支援教育研修課・山下晃)			自立活動について、課題や悩みを共有しながら、実態把握から指導内容設定までを具体的な事例を通して考えていきます。 (9月5日と同じ)		I (1～5年経験)
						エー① エー②
	小・中・義 高・特	20人	9:30～12:00	大研修室	筆記用具	
15	理科について語ろう (教科教育研修課・北原)			子供たちが、主体的に問題を解決していく小学校理科について語りましょう。 日々の授業での悩みや工夫、実践発表を基にした意見交換など予定しています。		I (1～5年経験) II (6～10年経験)
						イー①
	小・義	20人	9:30～12:00	理科研修室	Wi-fiにつながる端末	
			～			
			～			
			～			
			～			

土曜講座開設一覧

鹿児島県総合教育センター

10月31日 実施分						
番号	講座名(担当者名)			講座内容		対象ステージ
	校種	定員	時間	場所	準備するもの等	目指す資質
16	初めての「通級による指導」担当教員講座 (特別支援教育研修課・木原)			通級による指導を担当している経験の浅い先生向けの講座です。通級指導教室の運営方法や授業について研修を深め、「通級による指導」担当者同士のネットワーク作りを行うことを目的としています。		I (1～5年経験) II (6～10年経験) エー① エー②
	小・中・義・高	20人	9:30～12:00	大研修室	筆記用具	
			～			
			～			
			～			
			～			

土曜講座開設一覧

鹿児島県総合教育センター

9月5日 実施分						
番号	講座名(担当者名)			講座内容		対象ステージ
	校	種	定員	時 間	場 所	準備するもの等
教 4	より深い児童生徒理解に基づく生徒指導の進め方 (カウンセリング技法) 学生受講可 (教育相談課・天目石)			9:30 ~ 12:00	会 議 室	全ステージ
						ウー①
						ウー②
	小・中・義 高・特	10 人				筆記用具等
9月26日 実施分						
番号	講座名(担当者名)			講座内容		対象ステージ
	校	種	定員	時 間	場 所	準備するもの等
教 5	(オンライン：小学校限定) 分かる！楽しい！授業づくりの基礎・基本 一主体的・対話的で深い学びを目指してー 学生受講可 (教科教育研修課・古園・泉・満尾・北原・山内)			9:30 ~ 12:00	オンライン	養成期
						イー①
	小・義	50 人				インターネット接続環境等
10月3日 実施分						
番号	講座名(担当者名)			講座内容		対象ステージ
	校	種	定員	時 間	場 所	準備するもの等
教 6	使ってみようCanvaーCanvaを活用した共同編集作業体験ー (2/27と同内容) 学生受講可 (情報教育研修課・石塚)			9:30 ~ 12:00	パソコン 研修室Ⅳ	全ステージ
						イー①
						オー①
						オー②
	小・中・義 高・特	20 人				外部のWi-Fiへの接続が可能な端末
11月28日 実施分						
番号	講座名(担当者名)			講座内容		対象ステージ
	校	種	定員	時 間	場 所	準備するもの等
教 7	多様な児童生徒が学びやすい授業づくり 学生受講可 (特別支援教育研修課・有馬)			9:30 ~ 12:00	鹿児島大学	I (1～5年経験)
						II (6～10年経験)
						イー①
						エー①
	小・中・義 高・特	30 人				筆記用具 端末
12月5日 実施分						
番号	講座名(担当者名)			講座内容		対象ステージ
	校	種	定員	時 間	場 所	準備するもの等
教 8	保護者との関わり方 学生受講可 (教育相談課・川原)			9:30 ~ 12:00	鹿児島国際大学	全ステージ
						ウー①
						ウー②
	小・中・義 高・特	20 人				筆記用具等

ステージ別資質向上指標（教員等）

ステージ	養成期 (採用前)	ステージⅠ 目安経験年数（1～5年経験）		ステージⅡ 目安経験年数（6～10年経験）		ステージⅢ 目安経験年数（11～20年経験）		ステージⅣ 目安経験年数（21年経験～）	
		（採用前）		目安経験年数（6～10年経験）		目安経験年数（11～20年経験）		目安経験年数（21年経験～）	
必要 な 素 養	ア 鹿 児 島 の 教 員 等 と し て	職業観・自己研鑽 教育公務員としての崇高な使命感・職責感・倫理観を自覚し、学校及び教職の意義・社会的役割・服務等を理解するとともに、郷土のよさを認識しながら、新しい時代における教育や学校教育を取り巻く国内外の環境の変化に合わせて常に学び続け、自らの学びを振り返りつつ、専門性を主体的に高めることができる。		コミュニケーション 児童生徒のよりよい未来の実現に向けて、人権教育を基盤とした教育にかける信念や愛情など豊かな人権性を持ち、円滑なコミュニケーションを取りながら、児童生徒や他の教職員、保護者、地域住民等と持続可能な信頼関係を築くことができる。		学校組織マネジメント 学校組織マネジメントの意義を理解し、拡大・多様化する学校の役割に対応するために、郷土の教育的資源や限られた時間を効果的・効率的に用いつつ、学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校内における自らの役割を理解して校務に積極的に参画し、学校や学級等の課題をチームとして解決しようとするすることができる。		連携協働 自身や学校の強みや弱みを理解し、自らの力だけでできないことを客観的に捉え、組織の一員として家庭・地域等も含めた他者と協働したり、課題解決に努めたりする姿勢を身に付け、自らの資質向上に努めようとするすることができる。	
		安全管理・危機管理 学校管理下で起こる事故や災害等について学校全体で危機意識を共有し、未然防止に努めるとともに、様々な場面に対応できる危機管理の知識や視点をもち、発生時の安全管理・危機管理について理解し迅速に行動することができる。							
イ 学 習 指 導	ウ 生 徒 指 導	関係法令及び学習指導要領における目標や内容等を理解している。		① 児童生徒の学習意欲を引き出す指導力を身に付け、個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けた授業改善に取り組むことができる。		① 新しい指導方法を効果的に取り入れ、他の教員に提案性のある授業を行うことができる。 ② 校内研究会・校外研修会の企画・運営の中心となつて、校内研究体制の推進を図ることができる。		① 学力向上や授業改善、授業評価などの視点を常にもち、授業提案を通して、学年や教科の授業改善をリードすることができる。 ② 学校全体の学習指導上の諸課題を把握し、カリキュラム・マネジメントの中心として組織的に実践を進めることができる。	
		① 生徒指導の意義や原理、必要な技法等を理解している。		① 学年・学校全体の児童生徒の特性や状況を的確に捉え、他の教職員や関係者、関係機関等と協力しながら組織的・計画的な指導方針や手立てをばすことができる。 ② 教育相談の意義や理論を理解しながら児童生徒との信頼関係を構築するとともに、それぞれの可能性や活躍の場を引き出す集団づくりを行うことができる。		① 経験を踏まえた問題提起や情報提供をしながら他の教職員に適切な助言を行うことができる。 ② 関係機関等と連携を深め、問題解決のための体制づくりをすることができる。 ③ 地域社会と連携しながら学校の教育活動全体を通じて、キャリア教育を推進し、児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することができる。		① 児童生徒が自発的・主体的に成長や発達する過程を支える視点をもって、組織を構築し、取組を学校全体で推進することができる。 ② 生徒指導を組織的・効果的に行うための長期的な見通しをもち、他の教職員に適切な助言・支援を行うことができる。	
		① 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒の多様な背景（状態像や特性等）を理解しようとする姿勢をもつとともに、インクルーシブ教育システムの理念を理解している。		① 実践を通して、児童生徒の多様性への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づいた指導・支援を行うことができる。 ② 特別な配慮や支援を必要とする児童生徒に対して、個に応じた指導を計画的に推進することができる。（個別的教育支援計画、個別の指導計画等）。		① 児童生徒の多様性に基づき、困難さの分析に応じて関係機関や専門家などとの連携を推進することができる。 ② 教育支援に関する情報を確実に引き継ぎ、切れ目のない支援を推進することができる。		① 校内委員会など組織的・体系的な指導や支援体制を整え、インクルーシブ教育システムの理念に基づいた教育を学校全体で推進することができる。 ② 関係機関や専門家などとの連携を積極的に図り、効果的な指導・支援に生かすことができる。	
		① 学校におけるICT活用の意義とともに、育成すべき情報活用能力や情報機器の基礎的活用方法等について理解している。		① 育成すべき情報活用能力を意識してICTを効果的に活用した指導の充実を図ることができる。 ② 情報モラル・情報セキュリティを踏まえた適切なICT活用について、児童生徒に指導することができる。		① 校内研修の中心となり、全職員のICTの効果的な活用を推進することができる。 ② 児童生徒の情報モラルへの理解を含む系統的情報活用能力の育成を、学校全体で推進することができる。		① 校内の情報・教育データ利活用等の推進体制の中核となり、同僚等に適切な指導・助言を行うことができる。 ② 教育活動全体において、ICTや先端技術の効果的な活用及び情報活用能力の育成に係る計画等の評価・改善ができる。	
		① 学校におけるICT活用の意義を踏まえ、授業や教材準備、校務等にデータ活用も含めてICTを適切に活用することができる。 ② 育成すべき情報活用能力や情報モラル・情報セキュリティを正しく理解し、児童生徒に指導することができる。							

ステージ別資質向上指標（各職の特性を踏まえて必要な資質）

※ 教員等に求められる資質に加えることとなる。

ステージ	養成期 (採用前)	ステージⅠ 目安経験年数（1～5年経験）		ステージⅡ 目安経験年数（6～10年経験）		ステージⅢ 目安経験年数（11～20年経験）		ステージⅣ 目安経験年数（21年経験～）	
		目安経験年数（1～5年経験）		目安経験年数（6～10年経験）		目安経験年数（11～20年経験）		目安経験年数（21年経験～）	
教 職	養 護 教 諭	○ 養護教諭として、基本的な職務について理解している。		○ 養護教諭の専門性を高め、チームとしての取組を推進することができる。		○ 養護教諭として主体的に組織運営に関わり、同時に、全校保健活動のリーダーとして推進することができる。		○ これまでの経験を生かし、専門的で高度な実践を展開し、全校保健活動に立ち続けることができる。	
		○ 食に関する指導や学校給食の管理等について理解している。		○ これまでの取組を踏まえ、食に関する指導や学校給食の管理等についての専門性を高めることができる。		○ 学校における食育の中心として、食に関する指導や学校給食の管理についての実践的指導力を発揮して業務に取り組むことができる。		○ 各地域の食育の推進において、中心的な役割を果たすことができる。	

ステージ別資質向上指標（管理職）

ステージ 求められる資質		教頭	校長
ア 管理職として必要な素養	a人間性・使命感	教育についての高い見識及び豊かな人権感覚を有し、鹿児島未来を担う児童生徒を育成する崇高な使命感を自覚するとともに、管理職としての資質・能力を高めることができる。	
	b職責感・倫理観	教育公務員としての範を示し、管理職としての職責感と高い倫理観をもって職務を遂行することができる。	
	cマネジメント (目標に沿った組織運営)	適切な判断と決断を行い、教職員がチームの一員として組織的・協働的に取り組めるようにリーダーシップを発揮し、効率的・効果的に学校組織をマネジメントすることができる。	学校の最高責任者として、的確な判断と決断を行い、教職員や家庭、地域社会と連携・協働してリーダーシップを発揮し、責任を持って学校組織をマネジメントすることができる。
	dアセスメント (評価・分析)	教育活動に関わる様々なデータや学校が置かれている内外環境に関する情報を収集・整理・分析し、校長に報告するとともに、的確に具申することができる。	教職員間や学校運営協議会等で共有した教育活動に関わる様々なデータや学校が置かれている内外環境に関する情報に基づいて学校経営ビジョンを策定し、具現化することができる。
	eファシリテーション (相互作用の促進)	学校内外にある資源を活用するため、教職員や児童生徒、保護者や地域の人材、外部の関係機関等との相互作用を促進し、学校の教育力を高めることができる。	学校内外にある資源を活用するため、教職員や児童・生徒、保護者や地域の人材、外部の関係機関等と協働的なネットワークを築いて学校の教育力を高めることができる。
イ 学校経営・運営		「学校教育目標」の実現を図るために、校長の策定した学校経営ビジョンの具体化に向けて、校長の指導の下、学校組織の円滑な運営を行うことができる。	「学校教育目標」の実現を図るために、策定した学校経営ビジョンの具現化に向けて組織的な学校運営を行い、特色ある学校づくりを行うことができる。
ウ 育成・組織づくり		自校の教職員の個性や適性、能力を的確に把握し、年間を通じて計画的に指導助言を行いながら校内の人材育成、組織づくりをすることができる。	人事評価を有効に活用し、自校の教職員の能力開発を行い、職能成長を支えながら、校内の人材育成や後継者育成、組織づくりをすることができる。
エ 関係づくり		保護者や地域、関係機関等の意見や要望を的確に捉え、関係機関等との連携を図り、適切に対応しながら外部人材を積極的に活用することができる。	保護者や地域、関係機関等との信頼関係と協力関係を築きながら外部人材を積極的に活用した学校経営をすることができる。